



# 伊豆市議会だより

**No.59**

2019.2.1 発行

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906



(天城北道路 大平)

## 目次

■ 12月定例会の概要 .....	2
■ 委員会審査 .....	5
■ 一般質問 .....	7
■ 次回定例会の予定 他 .....	12



議会ホームページへ





伊豆市議会議長  
三田 忠男

新年あけましておめでとございます。  
昨年中は、多くの市民の皆様方に傍聴を賜り誠にありがとうございました。議員一同感謝に堪えません。

どうか、本年も、昨年同様多くの皆様方の傍聴をお願いいたします。

昨年の議会活動を振り返りますと、政治倫理審査会で2件審査、第二次伊豆市総合計画基本構想の変更、月ヶ瀬の地域振興施設設置条例、自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例、常任委員会の名称変更、教育振興審議会答申、静岡水わさび

伝統栽培の世界農業遺産認定、土肥義務教育学校開校、ユネスコ世界ジオパーク認定、新天城湯ヶ島支所開所、国道土肥工区Ⅱ区開通、再生可能エネルギー発電事業関係法令における住民意向の反映及び安全基準等の規定を求める意見書、伊豆市修善寺・中伊豆・天城地区の新中学校の整備を求める決議等<sup>つちのくにめ</sup>平成30年度において取り組みました。

これらの議会活動に対し、忌憚のないご意見をお聞かせ頂きたく存じます。真摯に受け止め、亥年の議会活動に取り入れていきたいと思えます。

亥年の今年は3年目に入り、新体制の議会運営の下、議会基本条例を中心に据えて、改革すべきは改革し、守るべきは守り、市民視線を貫き、地方自治の本旨に基づいて、市民の福祉の増進を図り、伊豆市の健全な発展に寄与すべく、議員一同引き続き全力を尽くしてまいります。

若者の政治離れの防止、若者・女性の議会への参画、議員定数・議員報酬見直し、政務活動費の議会への活用効果、議会広聴活動、議会モニター制度導入、議会アドバイザー導入、議会だより改善、通年議会、ペーパーレス議会等々検討すべき課題は目白押しです。  
伊豆市民のための議会であり続けるために、行政に対する更なる監視機能の向上、政策提言機能の充実を図るべく、数々の諸課題に取り組み一年と考えております。  
ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



## 定例会の概要

平成30年12月定例会を11月28日から12月19日まで22日間の会期で開催しました。

補正予算4件、条例の一部改正など3件、その他7件が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決しました。

また、請願1件、意見書1件、決議1件が提出され、請願は一部採択、意見書、決議はそれぞれ可決しました。

## 平成30年度補正予算

### ◆一般会計補正予算(第4回)

人事院勧告や職員の異動に伴う職員給与費に805万円、台風24号被害による、中伊豆支所屋上防水改修工事407万円や土肥山川ポケットパーク転落防止柵改修工事207万円、オリンピック開催に伴い、沿道の修景伐を推進する補助金490万円、高性能林業機械購入補助金750万円、本年度の猛暑を受け市内の小・中学校の普通教室にエアコン設置する整備工事に4億500万円、天城中学校施設

バリアフリー化改修工事335万円など総額4億4千995万円を増額し、歳入・歳出予算額を181億6千222万円とするものです。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第4回)

人事院勧告による職員給与費や制度改正に伴うシステム改修費など総額57万円を増額し、歳入・歳出予算額を44億4千114万円とするもの。

◆下水道事業特別会計補正予算(第3回)

人事院勧告などによる職員給与費64万円、県道沼津土肥線及び県道大藪臨港線舗装工事に伴うマンホール工事405万円、県道熱海大仁線道路付替工事に伴う下水道管渠布設工事470万円など総額939万円を増額し、歳入・歳出予算額を15億8千538万円とするもの。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)

人事院勧告による職員給与費や国道414号線舗装工事に伴うマンホール工事405万円など総額

425万円を増額し、歳入・歳出予算額を1億5千541万円とするもの。

条例

◆伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に基づき、特別職と一般職などの給与に関する条例を改正するもの。

◆伊豆市行政財産の目的外使用に関する条例の一部改正

平成18年の地方自治法の改正の際に、引用条項が変更されたものについて、改正が漏れていたため改正を行うもの。

◆伊豆市下水道事業等の公営企業化に伴う関係条例の整理に関する条例

下水道事業及び農業集落排水事業について、公営企業法を適用することに伴い、関係する条例について所要の改正を行うもの。

その他

◆公の施設の指定管理者の指定について(中伊豆体験農園・笹湯・

恋人岬・中伊豆室内温水プール)

平成31年3月31日をもって指定期間が満了する公の施設4施設の指定管理者として、中伊豆体験農園を中伊豆体験農園管理組合、笹湯を一般社団法人伊豆市観光協会、恋人岬を土肥温泉旅館協同組合、中伊豆室内温泉プールを有限会社伊豆スイムサポートに、それぞれ引き続き指定するもの。

◆市道路線の認定について

◆市道路線の廃止について

◆市道路線の変更について

国土交通省が行う天城北道路の区域決定に伴い、天城北道路の敷地内に市道敷等が入ることから、それぞれ認定替えするもの。

討論

平成30年度一般会計補正予算(第4回)

反対討論 (西島 信也議員)

「月ヶ瀬道の駅指定管理料」平成31年度から5年間、合計1千750万円が計上されています。

そもそもこの施設は、誰のために建設するのか不明であります。地元の人に参加するという話も聞かなくてこないで、特定の市外の業者に儲けさせる施設なのか。

天城越え道の駅の出店者が支払っている賃借料・公益費等は、月ヶ瀬道の駅の場合はゼロ円。その上指定管理料年間350万円を事業者に支払うとは、おかしいと言わざるを得ません。

賛成討論 (杉山 誠議員)

この補正予算は、学校教育環境改善や放課後児童クラブ増設、林業活性化や台風被害対策など、必要かつ緊急性を擁するもの。

特に小中学校普通教室全てにエアコンを整備することは、子どもの健康と命を守り、安全な学習環境を整える上で欠かせない。

来年夏前までの整備完了をめざし、なおかつ国の交付金を使い、市の財政負担を軽減するため、本補正予算への理解と賛同を求めらる。

## 請願

◆「伊豆市自然環境と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」に罰則や安全に関する条項等の新規追加に関する請願書(要旨)

### 【請願事項】

① 現「伊豆市自然環境と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」に条例違反に対して充分な抑止効果がある罰則条項を追加してください。

② 行政組織が業者の法令遵守や住民の生活や安全が保証されるよう条例の適宜見直しや適切な勧告や指導を行うようにしてください。罰則に限らず、問題発生の都度の住民運動や対策をしなくても済むように条例や基準の適宜改正と併せて業者指導の強化を行ってください。

③ 県条例にはメガソーラーに起因する災害(火災、崩落、騒音、熱風等)に対する安全基準や災害対策基準が充分とは言えません。安全基準(例・電気火災用化学消火器設置義務等)設定、ならびに被災時の住民に対する補償等の事業者責任遂行のための義務(災害保険の加入義務または災害補償資金

の積み立て義務ならびに決算報告書の提出義務等)を明確化してください。

### 【採決】

①、③については、上位法との関係上、条例自体が違反となる可能性があるため不採択、②についてのみの一部採択となりました。

市長に請願を送付するとともに請願の処理の経過及び結果の報告を請求しました。

## 意見書

◆再生可能エネルギー発電事業関係法令における住民意向の反映及び安全基準の規定を求める意見書(要旨)

① 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法における事業認定要件に住民意向の反映を明記する。

② 再生可能エネルギー発電施設整備に関わる関係法令に、施設整備における安全基準を明記する。

③ 再生可能エネルギー電気事業が要因となった被害に対して、補償義務の確実な遂行のため、保険加入や信託等を電気事業者(既に稼働している事業者含む)の義務とする旨を法令等に明記する。

【提出先】  
衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 経済産業大臣  
環境大臣

法改正等の対応を強く要望するため、関係機関へ意見書を提出しました。

## 決議

◆伊豆市修善寺・中伊豆・天城地区の新中学校の整備を求める決議(要旨)

過日、伊豆市教育委員会から「伊豆市修善寺・中伊豆・天城地区の中学校基本方針」が示された。伊豆市の将来を見据えると本方針が示す新中学校については、保護者からの要望も強く、早期整備の必要性は高い。

今こそ「地域の宝」である子どもたちのために、議会・行政が丸となり、質の高い教育環境を目指すためには基本方針の早期実現に向け中学校の統合に取り組みすべきであり、特に最優先すべき事項は次のとおりである。

1、校地選定と校地選定に伴う通学対策の早期着手

子どもたちにとってのより良い教育環境を実現するためには、新たな一団の校地が望ましい。校地選定に際しては、生徒・保護者にとってより良い校地となるよう安心安全な学校生活環境を最優先し、防災対策、通学対策等に配慮の上、選定作業を早急に進める。

また新中学校建設に際しての最大の課題は、通学負担の軽減であることを肝に銘じ、校地選定後速やかにバス通学対策をはじめ徒歩、自転車通学対策について建設部局、交通安全及び防犯関係部局と連携し、具体的な計画案に着手する。

2、開校年度の明示と将来負担の軽減による整備

教育基本方針では、2025年度の開校が明記された。「合併特例債」の活用など市の将来負担の軽減に最大限配慮する。

以上の取り組みと併せ、校舎の設計、配置等についても、「生徒の安全とより良い教育環境」を最優先した計画策定に向け、保護者や市民の意見を踏まえつつ取り組



むべきである。  
以上のとおり決意する。

**反対討論**

(小長谷朗夫議員)

2点について述べます。一つ目に決議の内容に挙げている2課題と一番の重要事項になる課題解決のための2要件との整合性に欠けること。次になぜ今決議なのかです。統合のための基本方針は、教育委員会より報告事項として扱っただけであって質疑はしていない。内容についての議論があり、機が熟したその時点で提案されれば、大勢の議員の賛同を得て、言い換えると、議会も一丸となつての意味合いが一層色濃くなる気がします。だから今ではないと考えます。

**賛成討論**

(波多野靖明議員)

月日の進む中、刻々と老朽化に耐える校舎と共に過ごす生徒たちがおります。

各中学校の現状が待ったなしであることはご承知のとおり。教育環境作りは、少子化が進む今だからこそ、経済を支える大人の重要な使命の一つです。前回白紙となつた計画はゼロからのスタートかも

しれませんが、当時から変わらな  
い課題はゼロにはなりません。い  
ち早く向き合い、校地選定・通学  
路・通学方法対策など、将来の市  
民の負担も視野に入れ、取り組ん  
でいく必要があると考えます。



委員会の議案審査で、  
次のような質疑がありました

**総務経済委員会**

◆一般会計補正予算(第4回)

問 高性能林業機械導入補助金に  
よる導入予定の機械の規格と補助  
内容は。

答 機械の導入タイプは、適用  
ベースマシンの20トンクラスで、  
林業で使うためのアタッチメン  
トがついたものです。県からの  
補助率が購入費用の2分の1の  
750万円で、残りが導入者の負  
担となります。

問 中伊豆支所の屋上防水改修工  
事の内容は。

答 台風24号の被害により、正面

玄関屋上の防水シート等が剥離飛  
散、建物屋上の防水シートも耐用  
年数15年を経過しているので併せ  
て修理します。

◆公の施設の指定管理者の指定  
(中伊豆体験農園)

問 中伊豆体験農園は、今後も指  
定管理として続けるのか。

答 地元の農業者で組織し、一生  
懸命運営しています。審査会では  
A評価であり、指定管理者として  
指定するのが懸命であると考えて  
います。

◆公の施設の指定管理者の指定  
(恋人岬)

問 指定管理期間を5年から3年  
にした理由は。

答 土肥地区は、観光防犯まちづ  
くり重点地区対策基本計画策定業  
務を行っているため、今後この地  
区の観光施設を取り巻く状況が大  
きく変わることが予想されるため  
です。

**教育厚生委員会**

◆一般会計補正予算(第4回)

問 修善寺地区の放課後児童クラ

ブの開設に伴う備品購入費の内容  
は。

答 4月から、修善寺南小学校区  
のあゆのさとの施設内に新たに放  
課後児童クラブを開設します。開  
設に伴い、テーブルやパーテー  
ション、本棚、下に敷くマットな  
どの備品を購入する予定です。

問 小中学校エアコン整備事業  
で、日本全国一斉にエアコンを導  
入することになると、相当な台数  
が必要になるが、取り揃えること  
は可能か。

答 今後、設計の入札が行われる  
が、エアコンを確保するための手  
段は、設計入札の段階で機種を指  
定することだと考えています。エ  
アコン本体はもちろんですが、受  
電施設の設備も全ての学校で増設  
工事が必要で設備も受注生産とな  
ります。

自治体間の競争で大変厳しい状  
況ですが、設計作業と並行し、発  
注準備を進め、夏までの整備に向  
け最善の努力をします。



## 平成30年第4回（12月）定例会で審議した議案

## ■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野靖明	山口繁	梶谷和馬	間野みどり	鈴木正人	下山祥二	杉山武司	青木靖	永岡康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島信也	杉山誠	森良雄	木村建一
----	------	-------	-----	------	-------	------	------	------	-----	------	-------	-------	------	-----	-----	------

## 予算

平成30年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
平成30年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成30年度伊豆市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

## 条例

伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市行政財産の目的外使用に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

## その他

公の施設の指定管理者の指定について（中伊豆体験農園）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について（筥湯）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について（恋人岬）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について（中伊豆室内温水プール）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

## 請願

「伊豆市自然環境と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」に罰則や安全に関する条項等の新規追加に関する請願書	一部採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
--	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 意見書

再生可能エネルギー発電事業関係法令における住民意向の反映及び安全基準等の規定を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 決議

伊豆市修善寺・中伊豆・天城地区の新中学校の整備を求める決議	可決	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×
-------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長(三田忠男)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

## ■全会一致で可決した議案等

平成30年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第4回）	伊豆市下水道事業等の公営企業化に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
------------------------------	--

# 市政を問う

## ～一般質問～



録画配信へ

12月定例会での一般質問は、13名の議員が行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

### 質問

#### 保護司活動への 支援策について



(山口 繁議員)

保護司活動の拠点となる更生保護サポートセンターについて、国の方針で各地区保護司会ごとに設置するよう促されています。保護観察活動や保護司会の会合、研修の場として、さらには更生保護ボランティアの拠点や地区住民の相談の場所としての利用が期待されます。その設置の支援について市の考え方を伺いたい。

### 市長 答弁

#### 伊豆の国市と調整し 進めてまいります

更生保護サポートセンターは、確かな有力な建設候補地があったと認識していますが、それが進んでいないのであれば、もう一度伊豆の国市としっかり話をしていきます。

### 市長 答弁

サポートセンターは、保護司の皆さんの活動拠点として、必要なものであると認識しています。

伊豆の国市と連携を図りながら、サポートセンターの設置について、協議を進めていきます。

### 質問

#### 野生鳥獣に国産ジビエ 認証を受けませんか



(杉山 誠議員)

野生鳥獣の被害は深刻で、営農意欲の低下や耕作放棄地の増大を招いています。

当市は食肉加工センター「イズシカ問屋」をいち早く開設したが、「鳥獣被害防止特措法」では、捕獲した鳥獣は食肉として利活用することがうたわれています。

イズシカ問屋の現状と、国がお墨付きを与える国産ジビエ認証取得はいかがですか。

### 部長 答弁

#### 高品質な製品提供の ために認証取得は必要

「イズシカ問屋」の現状は、設立当初と比べて平成29年度には処理頭数・販売収入ともに増加しています。今後の課題としては、年間八百頭の処理能力の施設で、いかに原材料であるシカやイノシシを多く受け入れて加工量や販売量を増やし、どこまで経費の削減を図ることができるかと考えています。認証取得については、現在でも十分安心・安全な製品を提供していますが、今後も更に高品質な製品提供を目指すために、「国産ジビエ認証」を取得していきたいと考えています。

## 質問

## ブロック塀崩壊対策



(小長谷順二議員)

伊豆市では、地震発生時における建築物やブロック塀などの倒壊・転倒を防止する目

的で、建築物等の耐震化のためのプロジェクト「TOUKA I-0」を推進しています。

この事業の成果と課題、ブロック塀の現状把握、補助制度の周知や安全啓発など、ブロック塀崩壊減災に向けての取り組みについて伺います。

長弁  
市答  
ブロック塀対策の  
成果と現状把握

プロジェクトTOUKA I-0事業の成果は、耐震診断、耐震計画策定及び補強工事の実施により建築物の耐震化が推進され、人的被害の減少に寄与していると考えます。

ブロック塀の現状把握は、市域が広大なため、市内全てのブロック塀の調査は難しい状況ですが、公共施設は対策をとっています。

補助制度の周知はFMいずや市のホームページ、更には広報いず等で今後も広報を継続していきます。

## 質問

マイクロプラスチック  
ごみによる海洋汚染

(永岡 康司議員)

世界のプラスチックごみの発生量は3億トンを超え、今後更に増加していくと予想され

ている。環境省の削減計画の素案で、今後プラスチックごみの排出を25%の減を目指す。有害物質使用量の削減、不法投棄の監視強化等で、将来の海洋投棄排出量ゼロを目指すとした。市長に伊豆市の汚染の現状と、今のごみ対策について伺います。

長弁  
市答  
重要な課題であり  
啓発運動を強化します

汚染の現状については把握していません。

海洋汚染は重要な課題と認識し、大変強い危機感を感じています。対策としては、まず拾うこと。次に、なるべくプラスチックを使わない。そして、もう一度海をきれいにする。皆さんでごみを拾いましょう、なるべく使わないようにしましょう、という運動をもう少し強くしていく必要があると考えています。

課題を共有している行政と議員の皆様と連携をして、啓発運動を強化していく必要を、痛切に感じています。

## 質問

東京ラスクへの  
違法貸付疑惑

(西島 信也議員)

市長は、東京ラスクに旧天城湯ヶ島支所の向かって右半分及び駐車場を、平成22年に賃

料月額20万円で貸し付けました。この貸付料は、企業誘致の観点という理由で減額して、約1/3の価格になっています。

地方自治法は、「地方公共団体の財産は適正な対価なくして貸し付けてならない。」としているが、この法令に違反していないか。

長弁  
総務部  
答  
合法です

地方自治法第二百三十七条の二の条文は、「普通地方公共団体の財産は、条例又は議会の議決による場合でなければ、これを交換し、出資の目的とし、若しくは支払手段として使用し、又は適正な対価なくしてこれを譲渡し、若しくは貸し付けてはならない。」です。

東京ラスクの件は、伊豆市議会で議決しているのが合法です。伊豆市の行政は、しっかりと公正にやらせていただいております。



質問

景観条例施行後の  
違反広告物への取組み



(波多野靖明議員)

現在、伊豆半島で屋外広告物、違反広告物に取組みが取られ、伊豆市は是正等に効果を上げていると聞きますが、取組みの進捗状況を伺います。また、より魅力的な伊豆市にするためにも、更なる改善が必要だと考えますが、いかがでしょうか。

市長  
景観整備はとても大切  
引き続き取り組めます

今年1月から9月までの9か月間で、市内の違反広告物423件のうち140件を是正していただきました。

伊豆半島全体の平均よりはやや上回る成果で、県と関係市町では、2020年3月末までは是正完了を目指しています。

広告物に限らず、まちの景観整備は自然景観とともに、とても大切な課題だと思いますので、引き続き他の市町、県とも連携しながら進めてまいります。

質問

「虹の郷」次年度の  
運営について問う



(星谷 和馬議員)

伊豆市最大の観光地、フラワー公園の虹の郷。指定管理となっている伊豆市振興公社

は、入園者の減少に伴い営業収入が減、財務状況の悪化により、来年3月末で期間が終了です。

来年4月からの運営はどのようにするのか、また根本的に虹の郷の未来像をお示しください。

市長  
再度指定管理の公募を  
公開し対処します

来年4月以降はいくつかの選択肢を考えなければなりません。12月中旬ごろ再度指定管理の公募をはじめますが、それで応募があるかどうか見通せません。状況によっては、当面、市直営とすることもあり得るでしょう。

将来的には、市直営と全面的に民営化する範囲の中で、どこが最も市民の皆さんにとって利益となるか検討していきたいと考えています。

質問

防犯カメラ



(森 良雄議員)

防犯カメラの設置は市長の防犯に対する考へにはないようです。防犯カメラはインフラ（社会基盤）です。市長はさう思いませんか。

防犯カメラはインフラという考えはありませんか。防犯カメラは犯罪捜査のために有効なものです。犯罪の抑止力として大きな効果があります。防犯カメラを設置して安心安全の伊豆市をつくりませんか。

市長  
総合的な  
治安維持体制が適切

防犯カメラが必要とは思っていませんが、地域の皆さんとの見守り合いも含めて、総合的に治安を維持していくことが適切であるかと考えています。

伊豆市でも近隣自治体と同様に市の施設管理を目的に、必要な施設には既に何カ所か設置をしています。

また、東京2020大会開催時の修善寺駅周辺は、今まで経験したことがないような混雑等の状況も予想されますので、事件・事故を未然に防ぐ観点から、その必要性を大会組織委員会にも伝えていきたいと考えています。

質問

伊豆市における虐待に  
対する現状と考え方

(間野みどり議員)



平成30年3月、東京目黒区で当時5才の女の虐待死の事件から厚生労働省の虐待のあり方にも変化が見られます。児童虐待防止法が施行された平成12年に比べ、平成28年には虐待数が5.6倍に増加しています。伊豆市においては、状況をどのように捉えていますか。現状並びに今後の対応についてお伺いします。

健康福祉部長  
答弁母子保健スタッフ  
家庭児童相談室の現状

当市のことも課に母子保健スタッフ家庭児童相談室があります。乳幼児健診や子ども園等からの情報・連携を密にし早期対応をしています。相談室で対応している虐待ケースは年間約20ケースです。

また、県が設置している児童相談所、警察署、学校関係、民生児童委員等関係機関が連携した要保護児童対策地域協議会などと連携して、個別検討会議で情報や方針を共有しながら、家庭支援をして長期的にかかわっています。

質問

予算提案・執行の重責  
をもつ市長の政治姿勢

(木村 建一議員)



①平成28年度及び29年度の菊地市長の政治団体の収支報告書の内容を、市長は把握されていますか。

②私が入手した資料によると、平成28年度の9月、29年度の9月にそれぞれに政治団体の活動を催されているようですが、把握されていますか。

市長  
答後援会の代表ではない  
ため常時把握していない

私は後援会の代表者ではないため、通常チェックしておりません。いろいろな活動をしており、私が出るときもありますし、出ないときもあります。全部を把握しているわけはありませんが、いくつかの活動をしていることは承知しています。

私も参加するときは、自分の参加費は出し、私も領収書をもらいます。その先がどうなっているのか私は承知しておりません。

(この件は、市の一般事務に当たりませんが、市長の政治姿勢の関連質問ということで許可されました。)

質問

条例施行後の  
有効性を問う

(鈴木 正人議員)



本年10月に施行された「伊豆市自然環境と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」は、豊かな自然環境及び市民の安全・安心な生活環境の保全と再生可能エネルギーの利用との調和を図るとともに事業者の乱開発を抑制する効果も期待されます。その上で現行条例は、有効に機能していると考えますか。さらに改善が必要と考えますか。

市長  
答関係法令等との連携で  
有効に機能しています

電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(FIT法)では、事業認定の申請にあたって、必要な関係法令の規定を遵守すると定められており、伊豆市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の遵守も求められますので、条例は関係法令等と連携することで有効に機能していると考えています。

現条例は一定の評価ができると考えていますが、様々な事例を見ながら、条例がどうあるべきかについては、今後も内容を精査し検討していく姿勢です。



質問

断水の発生状況と対応



(青木 靖議員)

上水道の配管布設替え工事は、耐用年数に応じた工事が追いつかない現状です。漏水発生時の復旧工事の際に断水が長時間におよぶと生活や経済活動へ影響が懸念されます。

- ① 中長期の上水道の維持管理計画の概要は。
  - ② ここ1～2年の市内の断水発生状況は。
- その際どのような対応がなされましたか。

市長 計画的で合理的に経営  
市答 基盤の強化を図ります

平成29年度から水道事業経営戦略策定に取り組み、経営基盤の強化を目指しています。

建設部長 答弁

広域的な断水は今年6件発生しており、特に中伊豆地区に多く発生しました。断水時の対応として、広域の場合は同報無線などで、区域が限られる場合は広報車や戸別訪問でお知らせするとともに、断水が長時間の場合は給水タンク等で対応を行っております。また、大規模災害時に備えて市・町・県と「災害時相互応援に基づく協定」や、市内事業者支援にできる体制を取っています。

質問

市長の年頭の訓示の  
意義を伺います



(杉山 武司議員)

市長が本年の年頭の訓示で述べた「私たち判断基準は常に市民」市長はどのような思いを込めて職員に對してこの言葉を用いたのか、更にこの言葉の持つ意味をお示し願います。また、本年を振り返り市長の思い描く業務執行が適切に行われたのか伺います。

市長 伊豆市行政の  
市答 根幹部分です

これは地方行政の一番根幹部分ですので、職員に対しては市民の側に立って考えるよう再三示しています。私も含め、職員もある事業があるとき、それに関する意見を幅広く聴取し、普段から市民の声をちゃんと耳にし、特定の政策を組むときには、しっかりとそこを判断基準に入れ、最終的に政策として施策としてまとめます。そこにおいて、市民の意見、市民の利益が入らないということはありません。どんな状況であっても、判断基準が市民であるということですから、訓示で述べた効果の把握は、なかなか難しいものがあります。

会派変更のお知らせ

〇IZU未来

- ・代表者の変更  
新代表者：小長谷順二

- 小長谷順二、波多野靖明、間野みどり、下山祥二、三田忠男、青木靖、杉山誠

〇市民第一クラブ

- ・代表者の変更  
新代表者：山口繁
- ・永岡康司退会

- 山口繁、星谷和馬、小長谷朗夫

〇会派に属さない議員

- 鈴木正人、杉山武司、永岡康司、西島信也、森良雄、木村建一

【お詫びと訂正】

議会だより57号8頁、鈴木正人議員の一般質問7行目、「市長・事業者」と記載しておりますが、正しくは「市民・事業者」です。

また58号3頁4段16行目、年度を誤って「平成29年度補正予算」と記載しておりますが、正しくは「平成30年度補正予算」です。

ここにお詫びとともに、訂正させていただきます。

### 平成30年第2回臨時会

11月1日、平成30年第2回臨時会を開催し、市長から提出された議案2件について、原案のとおり可決しました。また、2件の専決処分（私有財産の管理事故に伴う損害賠償の額の決定、温泉の停止に伴う営業損失に関する和解及び損害賠償の額の決定）の報告がありました。

### 平成30年度補正予算

#### ◆一般会計補正予算（第3回）

本年度の猛暑を受け、市内小中学校で空調設備が未整備の普通教室にエアコンを設置するため、整備工事に必要な実施設計の費用2千100万円を増額し、歳入歳出予算額を177億1千227万円とするもの。

### その他

#### ◆工事請負契約の変更

旧湯ヶ島小学校耐震改修に係る工事請負契約について変更が生じ、1千781万円を増額するため、工事請負契約の変更について議会の議決を求めるもの。

### 平成30年第2回（11月）臨時会の賛否状況

件名	議決結果	波多野靖明	山口 繁	星谷 和馬	間野みどり	鈴木 正人	下山 祥二	杉山 武司	青木 靖	永岡 康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島 信也	杉山 誠	森 良雄	木村 建一
<b>予算</b>																
平成30年度伊豆市一般会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>その他</b>																
工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長（三田忠男）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

### 議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができ、当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

（議会事務局0558-729006）

### 3月定例会 本会議の予定

場所 本庁2階 議場

時間 午前9時30分

2月20日（水）市長施政方針・議案上程

28日（木）議案質疑

3月7日（木）委員長報告・質疑・討論・採決（補正予算・他）

11日（月）一般質問

12日（火）一般質問

13日（水）一般質問

22日（金）委員長報告・質疑・討論・採決（当初予算・他）

※変更となる場合があります。ご了承ください。

### 委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室

時間 午前9時30分

3月1日（金）総務経済委員会

4日（月）教育厚生委員会

5日（火）常任委員会（連合審査）

6日（水）常任委員会（連合審査）

### 編集後記

二〇二五年に大阪万博が決定した事で、昭和14年に開催されたニューヨーク万博で日本代表の絶景として出品された伊豆市達磨山（万太郎）からの富士山の写真がまた注目を集めています。私はその少し下にある竹取り台がかぐや姫が月へ帰った所と幼い頃よりずっと信じていました。小学校時代バスに乗り達磨山で蕨取りした事、親の話を疑わず信じた事、伊豆市には美しさを感じ心を育てる場所がいっぱいある事を実感しています。

議会広報委員長 間野 みどり